

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の方策（篠島小6年生）

<学力調査について> ○…よかった点, △…課題のある点

国語

○設問別で見えていくと、「原因と結果など、情報と情報との関係についての理解」「漢字と送り仮名」「話の内容を捉え、自分の考えをまとめる」についての問題がよくできていました。内容別・観点別で見えていくと、「読むこと」「知識・技能」の力がついています。日頃の授業や課題への取り組みにおいて、基礎的な漢字・語句などについてはある程度の定着が見られます。

△「図表やグラフをふまえて、自分の考えを書く」「同音異義の漢字」「話し手が伝えたいこと・自分が聞きたいことの中心を捉える」についての問題の正答率が特に低いことが分かりました。内容別・観点別で見えていくと、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「思考・判断・表現」については苦手なようです。自分の意見や考え、内容を分かりやすく表現する「書くこと」を苦手としています。国語の授業を中心に、様々な文章に触れさせ、語彙力・表現力を付けられるように指導していきます。また、スピーチ原稿の作成や日記指導などを通して、文章構成の指導も行っていきます。

算数

○「伴って変わる二つの数量」「正方形・正三角形の意味や性質」「加法と乗法の混合した計算」についての問題がよくできていました。領域別・観点別で見えていくと、「図形」「変化と関係」「知識・技能」の力がついています。

△「()を用いた式」「小数の計算」「わり算の筆算について、解き方の意味を考える」「百分率で表された割合」についての問題の正答率が特に低いことが分かりました。領域別・観点別で見えていくと、「数と計算」「思考・判断・表現」については苦手なようです。数学的な思考力を高めるために、まずは数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能が必要となります。そのために教科書やドリルを中心にしっかりと計算練習をを行っていきます。また、数量関係を理解させるために、電子黒板の活用や資料提示の仕方を工夫して指導していきます。

生活習慣や学習環境に関する調査について

○「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」という回答が多いことから、地域行事への参加率の高さと、地元の役に立ちたいと思っている児童が多くいることが分かりました。今後も自分のため、篠島のため努力してほしいです。

○「人が困っている時は進んで助けてあげたい」「人の役に立つ人間になりたい」と回答している児童が多いことから、優しい気持ちの児童が多いようです。今後も協調性や思いやりの気持ちを大切に、日常生活を送ってもらいたいです。

△「朝食を毎日食べている」と回答した児童が、全国平均値を大きく下回っています。朝食をとることは、体の成長にとって大切なのはもちろん、学習への集中力を保つためにも重要なものです。「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣づけをお願いします。